

認知機能低下リスク低減サービス開発への挑戦 —Well Agingへの貢献に向けた挑戦—

2024年2月14日

SOMPOホールディングス株式会社

2015年度、お客さまの**安心・安全・健康に資する最高品質のサービス**をパーパス※に
介護事業に本格参入

4つの事業「国内損保」「国内生保」「海外保険」「介護・ヘルスケア」をコア事業

※SOMPOグループのパーパス

“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する

損害保険ジャパンほか

SOMPOひまわり生命

約2,000万人のお客さまが
成長の基盤

国内損保
事業

国内生保
事業

海外保険
事業

介護・
ヘルスケア
事業

SOMPOインターナショナル

30カ国・地域、先進国から新興国まで

SOMPOケア

施設系事業所の定員数 業界No.1

(全国の介護付有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅400施設以上、
豊富な介護サービスを提供している600以上の在宅事業所)

SOMPOグループの認知症への取り組み（認知症サポートプログラム）

認知症高齢者数の増加、介護人材の不足等の社会的課題の解決に貢献するため、「**SOMPO認知症サポートプログラム**」※を2018年7月より始動（「認知症施策推進大綱」が公表される1年前）

※「SOMPO認知症サポートプログラム」は、「認知症に備える・なってもその人らしく
生きられる社会を」SOMPOグループ各社で目指す取り組み

- ・ 認知症に備える＝予防
- ・ なってもその人らしく生きられる社会＝共生



※エコシステム

外部の企業、団体等のパートナーと連携し、お互いに影響しながら機能を高め、共存していく仕組み

本日、お話ししたいこと

認知機能低下リスク低減サービス開発への挑戦

I. 商品・サービス開発の社会IMPACT（例）

II. サービス開発への挑戦

本日、お話ししたいこと

認知機能低下リスク低減サービス開発への挑戦

I. 商品・サービス開発の社会IMPACT（例）

II. サービス開発への挑戦

I-1. 認知症領域での民間企業活動の社会impact例？（私見）

18年度～20年度で、生命保険各社がMCI、認知症への備えといったコンセプトの保障とサービスを相次いで開発して販売開始

19年6月の認知症施策推進大綱の成立に加えて、新商品発売時のお客様へのお声かけが、MCIの社会的な認知度の向上に貢献できたと思慮

※保険においては、成約数の数倍のご提案が行われており、提案においてMCIの説明を行うことが、社会啓発の一助となっていると推察

【2018年度～20年度上期の生命保険会社の認知症関連新商品リリース】

2018年	太陽生命 ひまわり認知症予防保険	生存給付金で認知症スクリーニング、予防プログラム
	SOMPOひまわり生命 笑顔をももる認知症保険	MCI認定保険金、保険金で予防、予防プログラムを含む情報提供サイト
	第一生命 かんたん告知認知症保険	認知症予防アプリ
2020年	明治安田生命 認知症ケアMCIプラス	MCI保障
	住友生命 認知症PLUS	
	日本生命 認知症サポートPLUS	
	朝日生命 軽度認知障害保障特約	

○開発ステージ

- ・ 確かな技術の開発（アカデミアとの連携など）
- ・ 利用する人の近くで開発

○展開ステージ

- ・ 自らのマーケットでの真面目な展開
⇒正しい情報発信・社会啓発を意識

いずれも

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の
理解をベースに行う

本日、お話ししたいこと

認知機能低下リスク低減サービス開発への挑戦

I. 商品・サービス開発の社会IMPACT（例）

II. サービス開発への挑戦

II-1. SOMPOの認知機能低下リスク低減サービス

○ **SOMPO Smile Ageing Program (SSAP)** は認知機能低下リスク低減のためのサービス

○ **4つの生活習慣に同時期に介入**することで認知機能低下抑制の効果を示した「**FINGER研究**」をベースとし、国立研究開発法人**国立長寿医療研究センター**の監修を受けて開発したサービス

SSAPの4つの要素



4つの要素をパッケージにして取り組むことで、より効果的に脳と身体の健康を保つことが可能になります。

また、オンラインで双方向に繋がって対話するため、楽しく参加することができます。

01 運動



専門のインストラクターによる、ストレッチや有酸素運動、筋力トレーニングなど、座ったままでも行える運動の組み合わせになります。脳と身体の両方に効果的なコンテンツです。

02 認知機能トレーニング



脳に効果的な刺激を与えられるデュアルタスクを導入しています。一般的な脳トレと違い、気軽に楽しく参加できます。

03 栄養指導



食事や栄養への興味を引き出すと共に、ご利用者やご家族に献立のご紹介も行っています。

04 社会参加



オンラインで行うことで、インストラクターやいろいろな参加者と交流することが可能となりました。

Ⅱ-2. 認知機能低下リスク低減プログラム開発へのチャレンジ

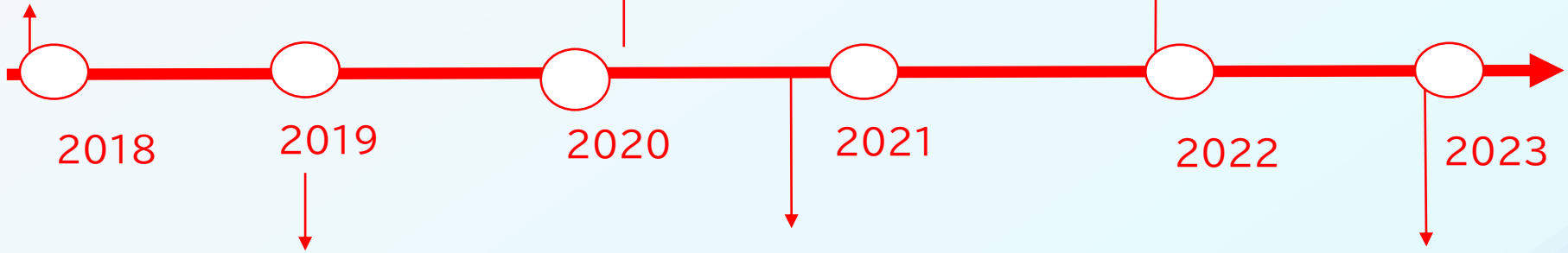
・認知症プロジェクト始動

なってもその人らしく生きられる
社会 = 共生



・J-MINT/J-MINT Prime研究
に参画

・22年10月より、SOMPOケア社内で
SOMPOスマイル・エイジングプログラムを
応用したプログラムの展開開始



2018

2019

2020

2021

2022

2023

・FINGER研究のキビペルト教授とア
ドバイザリー契約を締結
・予防プログラム開発をスタート

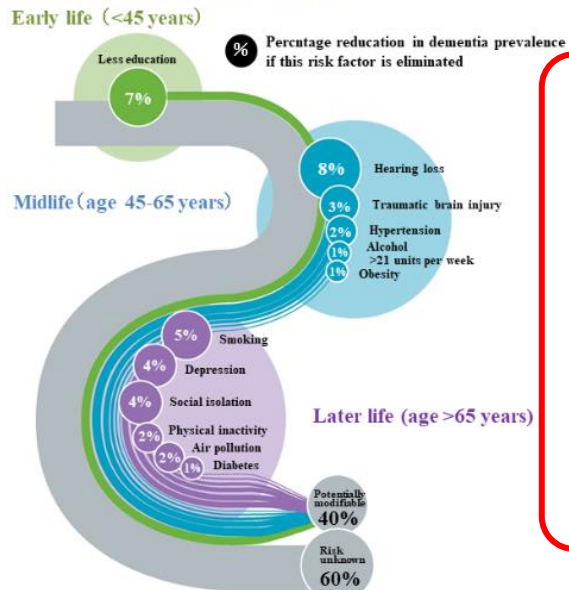
・SOMPOスマイル・エイジングプログラム完成
・試行展開

・23年4月から自治体に提供開始

認知症リスク低減への挑戦 依拠論文等：ランセット論文、FINGER研究

【認知症予防因子に関するランセット論文(通称)】
 認知症予防、介入、ケアに関する国際委員会によるレビュー研究

認知症予防の12のポイント

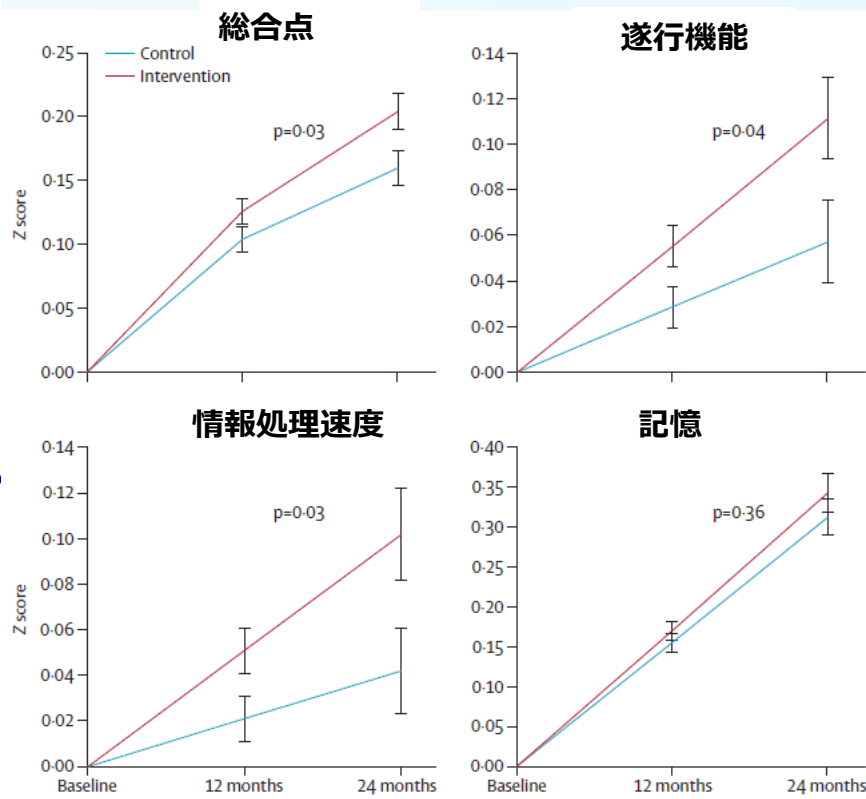


- 45歳未満
教育
- 45~65歳
難聴
・頭部外傷
高血圧
・過度の飲酒
肥満
- 66歳以上
喫煙
うつ病
社会的孤立
運動不足
・大気汚染
糖尿病

(出典：「Dementia prevention, intervention, and care: 2020 report of the Lancet Commission」2020.7.30 より作図、加筆)

【FINGER研究】

フィンランドで行われた「高齢者の生活習慣への複合因子介入(運動・栄養・脳トレ・社会参加・生活習慣病管理)による、認知機能障害予防研究
世界で初めて認知機能低下抑制効果を実証



Ngandu T, et al. *Lancet*. 2015 Jun 6;385(9984):2255-63



カロリンスカ研究所 キビペルト教授
 とのアドバイザリー契約
 (2019年～)

認知機能低下予防の介入研究の
 第一人者であるカロリンスカ研究所の
 キビペルト教授とアドバイザリー契約
 を締結。

Ⅱ-2. 認知機能低下リスク低減プログラム開発へのチャレンジ

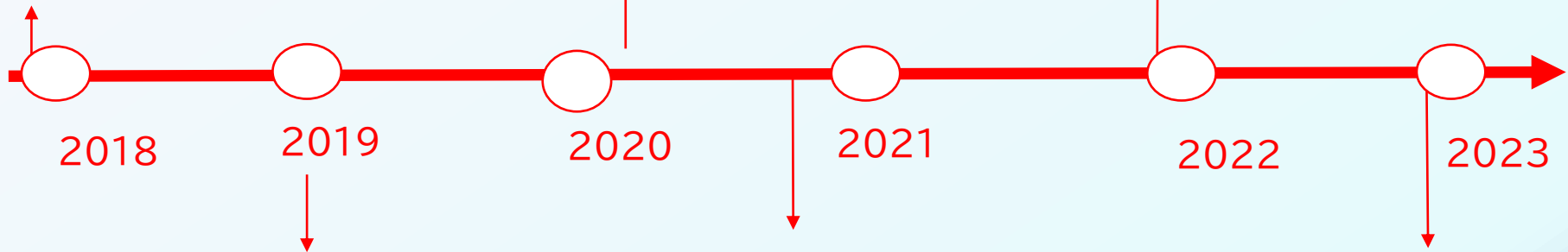
・認知症プロジェクト始動

なってもその人らしく生きられる
社会 = 共生



・J-MINT/J-MINT Prime研究
に参画

・22年10月より、SOMPOケア社内で
SOMPOスマイル・エイジングプログラム
を応用したプログラムの展開開始



・FINGER研究のキビペルト教授とアドバイザリー契約を締結
・予防プログラム開発をスタート

・SOMPOスマイル・エイジングプログラム完成
・試行展開

・23年4月から自治体に提供開始

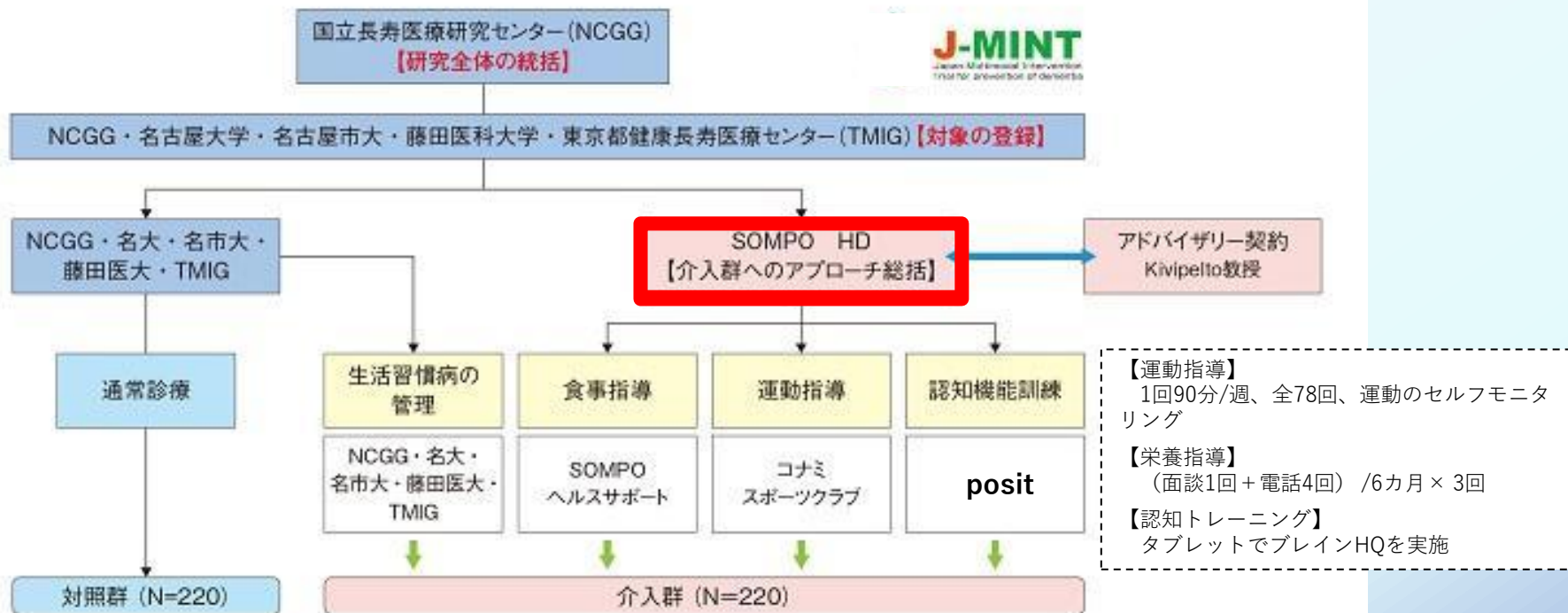
日本でのエビデンス構築（J-MINT研究＝日本版FINGER研究）

認知症予防を目指した多因子介入によるランダム化比較研究

Japan-Multimodal Intervention Trial for Prevention of Dementia: J-MINT by 経産省

- ・2020年～2022年12月まで（18か月間）、国立長寿医療研究センター（研究代表者：荒井秀典先生）の研究全体統括のもと、下図の体制で介入を実施
- ・エビデンスを取得するための試験としては高質な、RCT（Randomized controlled trial; ランダム化比較試験）方式を採用
- ・研究結果が本年7月に、国際アルツハイマー病学会（AAIC）にて発表された
- ・同時に行われた類似の関連研究に「J-MINT Prime丹波」（神戸大学・古和久朋先生）
- ・J-MINT本体、Prime丹波ともに、研究終了後に参加者は自主グループを形成してプログラムを継続

研究実施期間：2019年11月13日から2023年3月31日



Ⅱ-2. 認知機能低下リスク低減プログラム開発へのチャレンジ

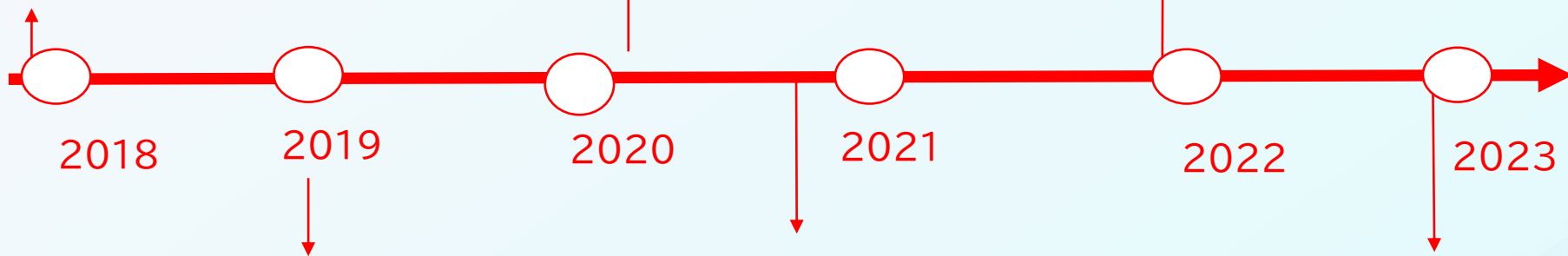
・認知症プロジェクト始動

なってもその人らしく生きられる
社会 = 共生



・J-MINT/J-MINT Prime研究
に参画

・22年10月より、SOMPOケア社内で
SOMPOスマイル・エイジングプログラム
を応用したプログラムの展開開始



・FINGER研究のキビペルト教授とアドバイザリー契約を締結
・予防プログラム開発をスタート

・SOMPOスマイル・エイジングプログラム完成
・試行展開

・23年4月から自治体に提供開始

実装からの改善（トライ&エラー）

- SOMPOケアの約10の介護事業所でアテストのために導入
- **参加者**（含む施設スタッフ）にアンケート、ヒアリングを実施
- プログラムを始め画像・配信環境まで課題を抽出し、改善の実施

運動

心拍数を上げる激しい運動
↓
機能改善を中心の運動



環境

1方向からの映像、社内回線
↓
2画面構成、専用回線化



運動

脳活パズルなど個人で実施
↓
運動の中に脳トレを追加
(シナプソロジー)



目標

認知機能にのみ焦点
↓
介護予防全般の目線を追加



Ⅱ-2. 認知機能低下リスク低減プログラム開発へのチャレンジ

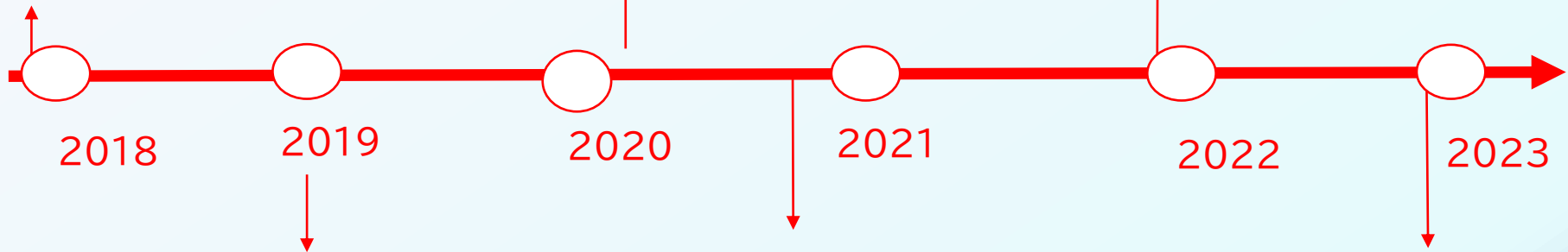
・認知症プロジェクト始動

なってもその人らしく生きられる
社会 = 共生



・J-MINT/J-MINT Prime研究
に参画

・22年10月より、SOMPOケア社内で
SOMPOスマイル・エイジングプログラム
を応用したプログラムの展開開始



・FINGER研究のキビペルト教授とア
ドバイザリー契約を締結
・予防プログラム開発をスタート

・SOMPOスマイル・エイジングプログラム完成
・試行展開

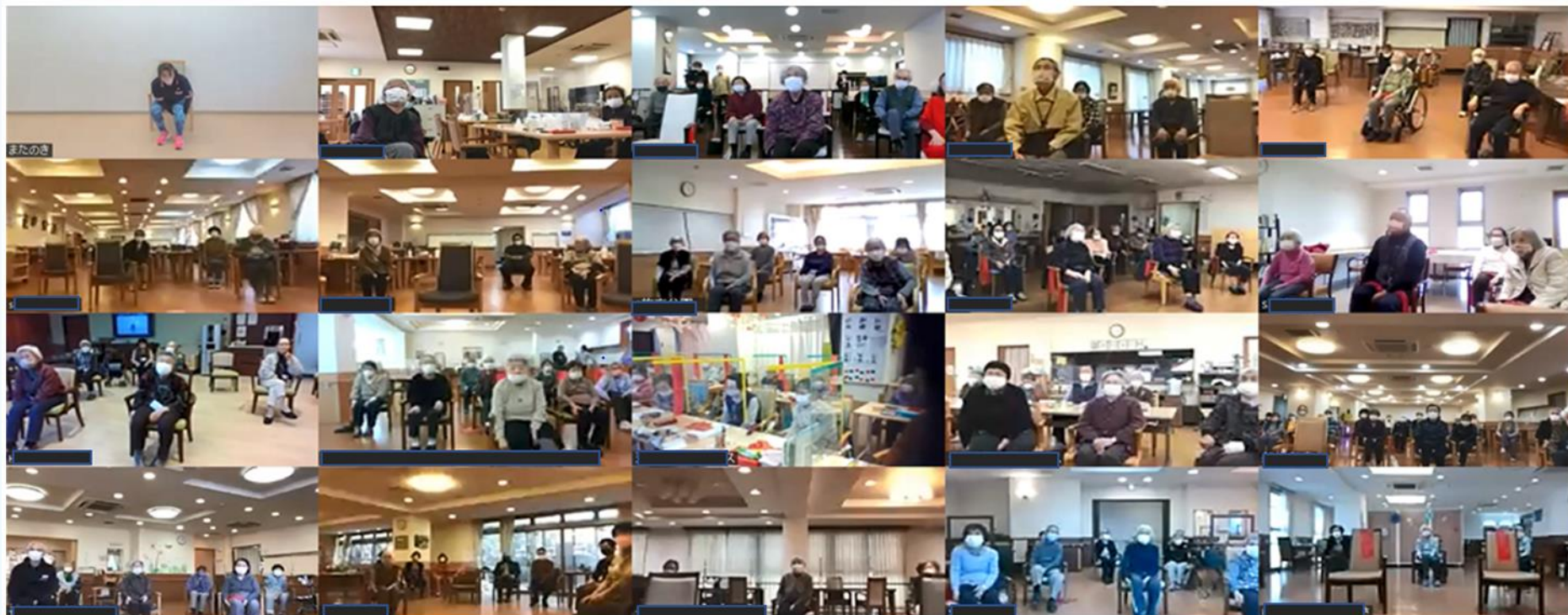
・23年4月から自治体に提供開始

SOMPOケアでの展開

SOMPOケア（介護事業者）で介護予防として週1回の複合プログラムに参加

・約150か所のサービス付き高齢者住宅（6か月毎体力測定）とデイサービスで
毎週**1,000名以上**のご利用者さまがプログラムに参加

毎週火・木・金曜日の14:00～15:30にLIVE配信するプログラムに参加。



自治体での展開

自治体の「通いの場」での活用を提案。

- ・兵庫県丹波市 約70名が立ち上げた通いの場に週1回ライブ配信（自助）
- ・北海道喜茂別町 約10名のタブレット端末で週1回ライブ配信（トライアル）



（兵庫県丹波市の様子）

II-3. J-MINT/J-MIT Prime研究の社会実装に向けた効果

J-MINT研究の結果から生活習慣への多因子介入の以下の可能性を追求

○ **認知症リスクの高い層**（ApoE4キャリア）への有効性

○ 認知機能低下、身体フレイルや生活習慣病のリスク低減による **健康寿命の延伸**

試験	参加者の基準	研究の成果
J-MINT本体	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上86歳未満の認知症でない、531人 NCGG-FATで認知ドメイン（注意力や記憶力など）が1個以上年齢平均より低下している方 ※NCGG-FAT:国立長寿医療センターで開発された認知機能検査 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ApoE4多型の保因者の介入群では認知機能が維持され、認知機能の変化に統計学的な有意 ○ 毎週のプログラムに70%以上参加した人に限定して解析すると、以下で有意に効果あり <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知機能の改善 ・ 身体機能の改善（歩行速度、5回立ち上がり、身体的フレイル発生率） ・ 生活習慣病の数値改善（収縮期血圧、BMI、食物多様性スコア）
J-MINT Prime Tamba	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上86歳未満の認知症でない、202人 DASC-21の合計得点が22-30点の範囲の方 血管リスクを1つでも有する方 ※高血圧症の治療中または収縮期血圧≥ 140mmHgまたは、拡張期血圧≥ 85mmHgの者 ※糖尿病の治療中または、HbA1c$\geq 6.0\%$の者 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 認知機能の改善 ・ 認知機能全般で、全参加者間の比較で有意に効果
J-MINT Prime Kanagawa	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上86歳未満の認知症でない、198人 NCGG-FATで認知ドメイン（注意力や記憶力など）が1個以上年齢平均より低下している方 ※運動介入は、上記の2サイト（毎週）と異なり、隔週1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要評価項目（コンポジットスコア）において、統計学的有意差は認めず ・ 食物多様性スコア、健康関連QOL (EQ-5D)の項目で介入群に有意に改善 ・ MCI群に限定したサブ解析では、論理的記憶（即時再生、遅延再生）において、18か月時点で介入群に有意に改善効果

○開発ステージ

- ・ 確かな技術の開発（アカデミアとの連携など）
- ・ 利用する人の近くで開発

○展開ステージ

- ・ 自らのマーケットでの真面目な展開
⇒正しい情報発信・社会啓発を意識

いずれも

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の
理解をベースに行う

ご清聴ありがとうございました。



SOMPO ホールディングス

安心・安全・健康のテーマパーク